



U コマンド

この章では、U で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

use-vrf

RADIUS または TACACS+ サーバグループの Virtual Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンス名を指定するには、**use-vrf** コマンドを使用します。VRF 名を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
use-vrf vrf-name
```

```
no use-vrf vrf-name
```

シンタックスの説明

vrf-name VRF 名。名前では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

なし

コマンドモード

RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション
TACACS+ サーバグループ コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

サーバグループに設定できるのは、1つの VRF インスタンスだけです。

RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション モードを開始するには、**aaa group server radius** コマンドを使用します。あるいは、TACACS+ サーバグループ コンフィギュレーション モードを開始するには、**aaa group server tacacs+** コマンドを使用します。

サーバを検索できなかった場合、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用してサーバを設定します。



(注) TACACS+ を設定する前に、**feature tacacs+** コマンドを使用する必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、RADIUS サーバグループの VRF 名を指定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# aaa group server radius RadServer
switch(config-radius)# use-vrf vrf1
```

次に、TACACS+ サーバグループの VRF 名を指定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# feature tacacs+
switch(config)# aaa group server tacacs+ TacServer
switch(config-tacacs)# use-vrf vrf2
```

次に、TACACS+ サーバグループから VRF 名を削除する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# feature tacacs+
switch(config)# aaa group server tacacs+ TacServer
switch(config-tacacs)# no use-vrf vrf2
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa group server	AAA サーバグループを設定します。
radius-server host	RADIUS サーバを設定します。
show radius-server groups	RADIUS サーバ情報を表示します。
show tacacs-server groups	TACACS+ サーバ情報を表示します。
feature tacacs+	TACACS+ をイネーブルにします。
tacacs-server host	TACACS+ サーバを設定します。
vrf	VRF インスタンスを設定します。

username

Virtual Device Context (VDC) にユーザ アカウントを作成および設定するには、**username** コマンドを使用します。ユーザ アカウントを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

username *user-id* [*expire date*] [**password** [0 | 5] *password*] [**role** *role-name*]

username *user-id* **sshkey** {*key* | **file** *filename*}

no username *user-id*

シンタックスの説明

<i>user-id</i>	ユーザ アカウントのユーザ ID。 <i>user-id</i> 引数は、大文字と小文字が区別され、英数字文字列で指定します。最大文字数は 28 です。
<i>expire date</i>	(任意) ユーザ アカウントが満了する日付を指定します。 <i>date</i> 引数のフォーマットは、YYYY-MM-DD です。
password	(任意) アカウントのパスワードを指定します。デフォルトでは、パスワードは設定されていません。
0	(任意) パスワードがクリア テキストであること指定します。クリア テキストのパスワードは、実行コンフィギュレーションに保存される前に暗号化されます。
5	(任意) パスワードが暗号化形式であること指定します。暗号化パスワードは、実行コンフィギュレーションに保存されるまで変更されません。
<i>password</i>	パスワードのストリング。パスワードは英数字で指定し、大文字と小文字が区別されます。
role <i>role-name</i>	(任意) SSH セッションで使用する VRF 名を指定します。
sshkey	ユーザ アカウントの SSH 鍵を指定します。
<i>key</i>	SSH 鍵のストリング
file <i>filename</i>	SSH 鍵のストリングを含むファイル名を指定します。

デフォルト

指定しないかぎり、ユーザ名には満了日、パスワード、または SSH 鍵が存在しません。

デフォルトの VDC では、作成するユーザに **network-admin** ロールがある場合、デフォルトのロールは **network-operator** で、作成するユーザに **vdc-admin** ロールがある場合、デフォルトのロールは **vdc-operator** です。

デフォルトでない VDC では、デフォルトのユーザ ロールは **vdc-operator** です。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

NX-OS ソフトウェアは、`admin` および `adminbackup` の 2 つのデフォルト ユーザ アカウントを VDC に作成します。デフォルトでない VDC には、1 つのデフォルト ユーザ アカウント (`admin`) があります。デフォルト ユーザ アカウントを削除することはできません。

ユーザ アカウントは、VDC に対してローカルです。異なる VDC に同じユーザ ID を持つユーザ アカウントを作成できます。

NX-OS ソフトウェアは、`password strength-check` コマンドを使用してパスワードの強度の確認をイネーブルにした場合にのみ、強力なパスワードを許可します。強力なパスワードは、次の特性を備えています。

- 最低 8 文字の長さ
- 連続した文字 (`「abcd」` など) が多数含まれない
- 文字の繰り返し (`「aaabbb」` など) が多数含まれない
- 辞書で確認できる単語が含まれない
- 固有名詞が含まれない
- 大文字と小文字が両方とも含まれる
- 数字が含まれる

**注意**

ユーザ アカウントのパスワードを指定しない場合、ユーザがアカウントにログインできない可能性があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、パスワードおよびユーザ ロールを持つユーザ アカウントを作成する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# username user1 password Ci5co321 role vdc-admin
```

次に、ユーザ アカウントの SSH 鍵を設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# username user1 sshkey file bootflash:key_file
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>password strength-check</code>	パスワードのセキュリティ強度を確認します。
<code>show user-account</code>	ユーザ アカウントの設定を表示します。